

グリーン・ツーリズムに関するアンケート調査結果

農村振興課

1 調査目的

県では、農山村地域の活性化のための重要な取り組みとして、地域資源を活かした「都市と農村の交流」いわゆる「グリーン・ツーリズム」を推進しています。
このアンケートでは、グリーン・ツーリズムに関する県民の皆さんの意識や意向を把握し、今後の施策運営の基礎資料として役立てます。

2 調査対象など

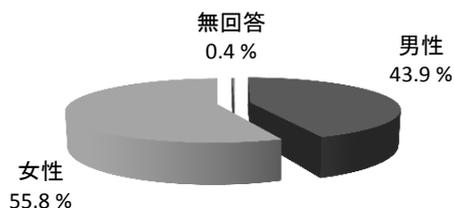
調査対象：県政モニター678人（うちインターネットモニター384人）
調査方法：郵送及びインターネット
調査期間：平成29年1月20日～2月10日
回収結果：545人（回収率：80.4%）
構成比はパーセントで表し、小数点以下を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

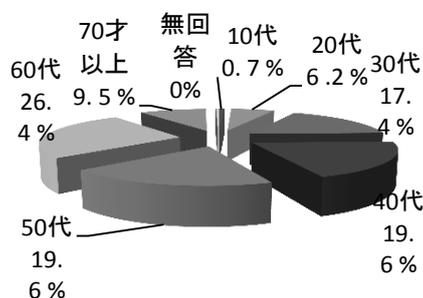
<u>・グリーン・ツーリズムの認知度などについて</u>	
○「知っている」	19.6%（H25：14.5%）
○「参加したことがある」	5.1%（H25：7.2%）
※認知度は低いですが、増加傾向にある。	
<u>・レジャーへの参加情報を得る手段について</u>	
○「新聞、雑誌、ガイドブック」	60.5%
○「チラシ、パンフレット」	43.6%
○「インターネット・SNS」	37.6%
※情報発信媒体は、新聞やチラシ、インターネットなどが有効であると考えられる。	
<u>・グリーン・ツーリズム体験への参加意向について</u>	
○「ぜひ参加したい」「機会があれば参加してみたい」	72.3%（H25：71.9%）
※体験のニーズは増加傾向にある。	
<u>・体験したい内容について</u>	
○「食品加工体験」	52.4%（H25：51.5%）
○「郷土料理を味わう・学ぶ」	40.2%（H25：29.6%）
○「自然体験」	38.0%（H25：39.6%）
○「農業体験」	19.8%（H25：31.4%）
○「歴史・文化とのふれあい」	35.6%（H25：18.9%）
※依然として「食」に関する体験が人気であり、特に郷土料理への関心が高まっている。	
※前回に比べ「歴史・文化とのふれあい」体験の希望が増加傾向にある。	
<u>・グリーン・ツーリズム事業について</u>	
今後のグリーン・ツーリズムを推進するための取り組みとして、「メディアやSNSを通じた施設・イベントのPR」を挙げている人が最も多かった。この他にも、「子どもが参加しやすいプログラム」や「学校での活動の一部として取り入れる」などのイベントやプログラム内容に関する意見も多くみられた。	

4 回答者の属性

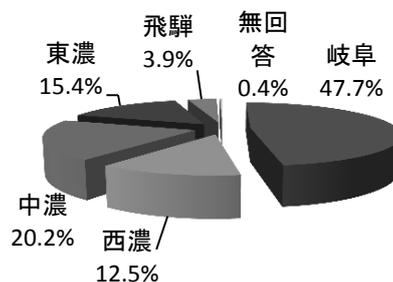
(1) 性別	回答数	比率
男性	239	43.9%
女性	304	55.8%
無回答	2	0.4%
計	545	100.0%



(2) 年齢別	回答数	比率
10代	4	0.7%
20代	34	6.2%
30代	95	17.4%
40代	107	19.6%
50代	107	19.6%
60代	144	26.4%
70才以上	52	9.5%
無回答	2	0.4%
計	545	100.0%



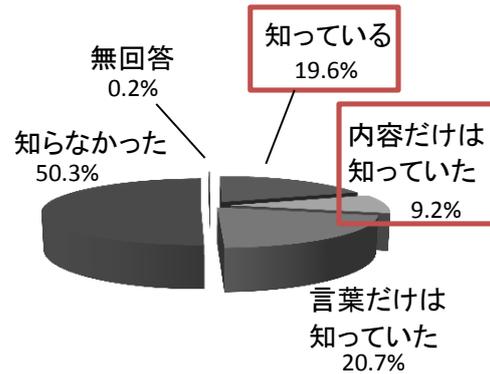
(3) 居住圏域別	回答数	比率
岐阜	260	47.7%
西濃	68	12.5%
中濃	110	20.2%
東濃	84	15.4%
飛騨	21	3.9%
無回答	2	0.4%
計	545	100.0%



5 調査結果

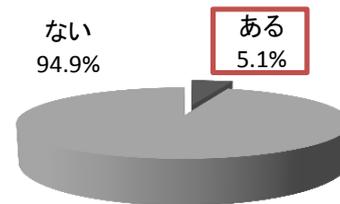
問1 あなたは、「グリーン・ツーリズム」を知っていますか。

	回答数	比率
知っている	107	19.6%
内容は知っているが、言葉は知らない	50	9.2%
内容は知らないが、言葉は知っている	113	20.7%
知らなかった	274	50.3%
無回答	1	0.2%
計	545	100%



問2 「グリーン・ツーリズム」体験に参加したことがありますか。

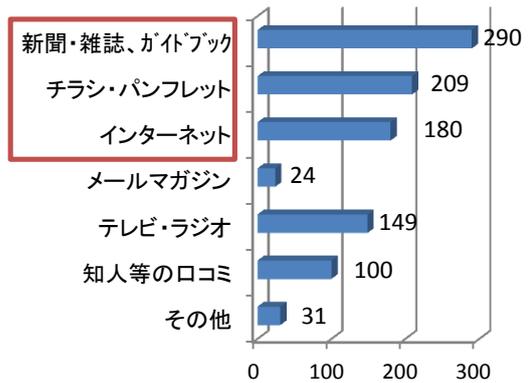
	回答数	比率
ある	28	5.1%
ない	517	94.9%
無回答	0	0.0%
計	545	100.0%



問3 あなたはどのような方法で「グリーン・ツーリズム」をはじめとする各種レジャーへの参加情報を得ていますか。（複数回答）

回答者=479人

	回答数	比率
新聞、雑誌、ガイドブック	290	60.5%
チラシ、パンフレット	209	43.6%
インターネット、SNS	180	37.6%
メールマガジン	24	5.0%
テレビ、ラジオ	149	31.1%
知人、友人等からの口コミ	100	20.9%
その他	31	6.5%
計	983	—

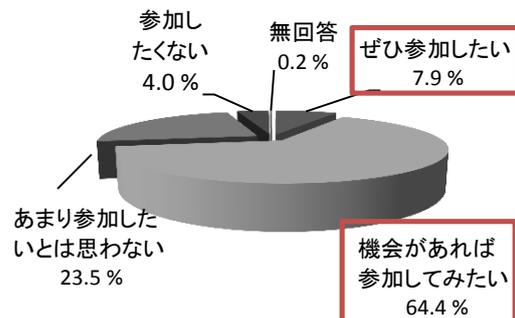


【「その他」の主な意見】

- 広報誌
- 旅行社からの案内
- 知らない

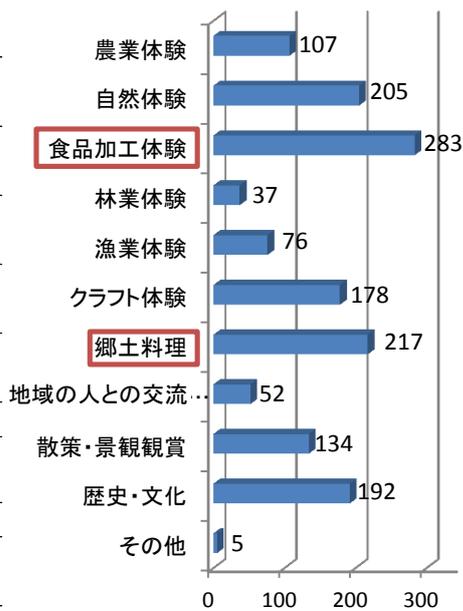
問4 あなたは今後、「グリーン・ツーリズム」体験に参加したいと思いますか。

	回答数	比率
ぜひ参加したい	43	7.9%
機会があれば参加したい	351	64.4%
あまり参加したいとは思わない	128	23.5%
参加したくない	22	4.0%
無回答	1	0.2%
計	545	100.0%



問5 あなたが「グリーン・ツーリズム」に参加するとして、そこでやってみたいことは何ですか。次の中から3つまであげてください。

回答者=540人	回答数	比率
農業体験 (農作物の植付け・収穫、家畜の世話など)	107	19.8%
自然体験 (トレッキング、川あそび、キャンプなど)	205	38.0%
食品加工体験 (そば打ち、漬物・餅作り、ピザ・パン焼きなど)	283	52.4%
林業体験 (間伐、枝打ち、炭焼きなど)	37	6.9%
漁業体験 (フライフィッシング、鮎釣りなど)	76	14.1%
クラフト・工芸体験 (木工、陶芸、草木染め、ワラ細工など)	178	33.0%
郷土料理を味わう・学ぶ	217	40.2%
民宿のご主人や女将さんなど地域の人との交流	52	9.6%
集落散策・景観観賞	134	24.8%
歴史・文化とのふれあい (史跡めぐり、伝統行事など)	192	35.6%
その他	5	0.9%
計	1486	—

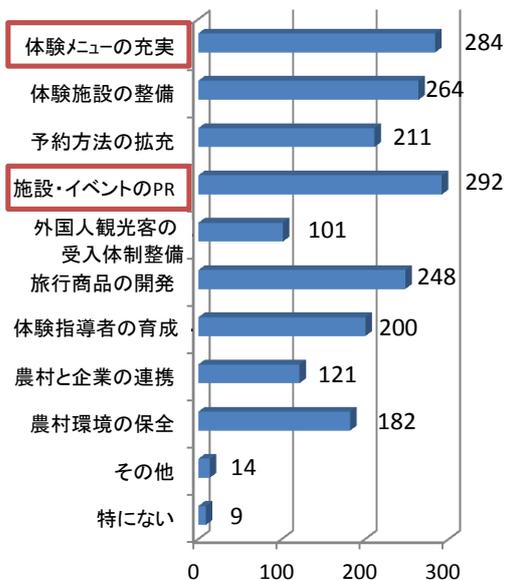


【「その他」の主な意見】

- 布を織る等
- 温泉入浴と地域散策

問6 今後、岐阜県の「グリーン・ツーリズム」を推進するため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。次の中からすべてあげてください。

回答者=536人	回答数	比率
個々の施設での体験メニューの充実	284	53.0%
体験施設の整備	264	49.3%
インターネット申込みなど予約方法の拡充	211	39.4%
メディアやSNSを通じた施設・イベントのPR	292	54.5%
外国人観光客（インバウンド）の受入体制整備	101	18.8%
体験ツアーなど旅行商品の開発	248	46.3%
体験指導を行うインストラクターなどの人材育成	200	37.3%
農村地域と企業や大学などとの連携	121	22.6%
農村景観や自然環境の保全	182	34.0%
その他	14	2.6%
特にない	9	1.7%
計	1926	—



【「その他」の主な意見】

- 広報活動（市町村の広報などで身近なPRが必要）
- グリーン・ツーリズムのゆるキャラを作る
- あまり知られていない地域限定の野菜や山菜とその料理方法の発掘

問7 その他、グリーン・ツーリズムに関するご意見、ご提案。
回答数=45

【情報発信に関すること】

- グリーン・ツーリズムという言葉が皆が知っている言葉になるように宣伝した方がいい
- もっと幅広く県民に広報してイベントなども開催・広報した方がよい
- もっと分かりやすくかつ魅力的に思えるように情報を発信するなど工夫が必要
- 駅のホーム、無料で配布される雑誌、新聞折り込みチラシなどでたくさん宣伝したら良い
- 体験できる施設をもっと認知してもらい、家族向け、若者向け、高齢者向け等、それぞれの世代にアピールする事が大事

【事業企画に関すること】

- 子供が参加しやすいプログラムがあると家族で参加できる
- 一過性ではなく「また参加したい」等を感じられる継続性が確保・維持できる施策が必要
- 利便性をよくするため、参加地の複数化を願いたい
- 段階別に参加できるような企画があれば老若男女に受け入れやすい
- 夏休み期間中の親子など、自由研究の課題になるものがイベントとしてあるといい

【受入体制に関すること】

- 他府県でも取り組まれているようなグリーン・ツーリズムではない、岐阜県ではなくてはならない内容に特化すべき
- 民間のアイデアを導入する必要性を感じる
- 費用対効果が現れるように工夫が必要
- 滞在型の体験から移住を促せるような魅力のある取り組みが必要
- 身近な参加しやすい環境の整備が必要

【学校との連携に関すること】

- 義務教育に課程として採り上げる
- 小学校の総合学習にとり入れる

【その他】

- 外国人は、日本の伝統行事に興味があると聞いたので、通訳等の人材確保がまず必要
- 地元の人としてはマナー等の悪い人は歓迎したくないと思うので、その点を解決できるように留意すべき

アンケートにご協力いただきありがとうございました。